

令和 7 年度鳥取県自主防災組織等知事表彰受賞者名簿及び功績概要

【功労表彰】

受賞団体	功績の概要
鳥取市 こわしがわ 小鷲河地区自主防災会連絡協議会	小鷲河地区は、総合防災マップでは居住地が“急傾斜地__特別警戒区域”と“土石流警戒区域”となっており、実際に令和 5 年度の台風 7 号で通行止めとなり孤立集落となった。 このようなことから、令和 5 年度住警器等配布モデル事業（住警器 100 個等贈呈）を実施する等、地区住民の防災意識が非常に高い。一方、各集落の自警団が解散され、町内自主防災会の防災訓練の実施が困難な状況ではあるが、公民館やまちづくり協議会とともに開催する「防災講座」には毎年約 20 名が参加している。 さらに、令和 5 年度からは人が多く集まる“運動会”で防災訓練を実施した。令和 5 年度は防災関連の 4 種目を実施したところ、参加者から好評だったため、令和 6 年度は種目を追加し 6 種類の防災関連種目を実施した。参加者からは、「自分の防災意識が高まった。」「消火器を使ったことがなかったので勉強になった。」「間違った防災知識を正すことができた。」「幅広い年代が集まるイベントはなかなか無いので続けてほしい。」などの声が寄せられた。
米子市 ふくよね 福米中学校区 防災体験キャンプ実行委員会	当該組織は、災害から自分の命を守り、どこに行っても災害から生き抜く力を養うことを意識し、小中学生を対象とした防災キャンプによる体験型防災活動に取り組んでいる。 防災キャンプでは、ハザードマップの意味や使い方、煙体験テントを使用した火災疑似体験、新聞紙スリッパ・ダンボール椅子の作成、非常食の試食やカップラーメンを水で食べてみるなどの実験など、幅広い内容を体験。 この事業の継続的な実施により、関係人口が増え、地域人材発掘や顔の見える関係づくり、参加者募集や資機材の貸し出しなどの学校側の支援体制が構築された。
米子市 ふくいけ 福生西 6 区 防災会	当該組織がある福生西地区は、津波災害警戒区域に指定されており、また近くを流れる 1 級河川の浸水想定区域に位置していることから、地震・津波災害、洪水災害が危惧されている地区であり、地域の避難支援体制の構築を図る等、地区全体で防災に取り組む、地域防災力の向上に努めている。 令和 5 年度には、要配慮者搬送も含めた避難訓練を実施し、自治会の班ごとに安否確認から声かけ避難を行っている。 令和 6 年度には、防災研修会を開催し、マイ・タイムラインの作成を行い、風水害における事前の避難についての意識啓発を行った。
倉吉市 おおたに 大谷自治公民館自主防災組織	支え愛マップ作成や外部支援がない想定 of 自給自足炊き出し訓練、安否確認用に赤い布を使用した避難訓練、災害弱者視点の平日日中訓練等を実施している。 防災訓練では、男性が炊き出し、女性がテント設営を行う等、アンコンシャスバイアスの解消に向けた機会を設けている。 訓練終了後の振り返りや課題の検討を重視し、実効性の向上に努めている。 平成 30 年 2 月に防災マップを作成し、令和 5 年 9 月に更新を行っている。また支え愛マップは毎年見直しを行っている。 結成 2 年目に大谷自主防災 LINE を作成しており、地域での情報交換を密に行っている。